



学校通信

やまつばき

呉市立昭和北小学校の花「やまつばき」

令和6年度

第9号

令和7年1月23日

令和7年がスタートしました。今年もまた、昭和北小学校の子供たちを「笑顔」に、地域の方々、保護者の方を「笑顔」にすることができるよう、教職員一同「笑顔」で頑張っていきたいと思っています。引き続きよろしくお願いします。

今から30年前の午前5時46分。兵庫県南部で大きな地震が発生しました。この地震によって引き起こされた災害が、阪神淡路大震災で、今年の1月17日は、阪神淡路大震災から30年という節目の年になりました。

広島県でも大きな揺れを感じるほどのこの地震により、たくさん方がお亡くなりになりました。住宅棟の建築物や高速道路、鉄道、ライフライン等被害は多岐にわたりました。建物の倒壊と火災の被害が激しく、避難生活を強いられた方もたくさんいらっしゃいました。ニュースで伝わる信じられない被害の状況、以前に訪れたことのある場所の変わり果てた様子に、本当に心を痛めました。その後、兵庫県にある「人と防災未来センター」を訪れたり、淡路島にあるこの地震で発生した断層を見学したりするなどで、改めてこの震災の被害の大きさを実感したものです。

昭和北小学校では、今年度初めて「北小防災フェスティバル」を行い、子供たちの防災に対する意識を高めました。そして今回、この阪神淡路大震災から30年の節目に当たり、休憩時間に、避難訓練の予告をせず、避難訓練を実施しました。

避難訓練について、何も知らないままの実施ではあまり意味がないので、これまでの避難訓練を想起し、防災フェスティバルの取組において継続して学習をしてきたことを生かした今回の避難訓練でした。

日本は地震の多い国なので、小さな揺れを感じることはよくあります。そんな状況で、今回の避難訓練のような動きはきつしなないと思います。実際に避難をする必要が生じたときは、もしかしたら建物が崩れかかっているかもしれません。避難場所に地割れが発生していて、そこも危険かもしれません。火災が発生しているかもしれません。ですから、どんな状況でも、その状況に応じて、「自分の命は自分で守る」ことができるようにしておくことが大切です。そのためには、他で起こっていることと考えるのではなく、自分事として捉え、当事者意識をもって訓練の時から真剣に取り組むこと、そして、「防災フェスティバル」のための防災の学習ではなく、常日頃から、日常の学習と防災とを結びつけ、自分にできることを考えることが非常に重要です。

今回の阪神淡路大震災から30年、そして学校で行った予告をしない避難訓練の二つのことを通して、改めて、防災についてこれまで以上に真剣に考え、取り組んでいく必要があると感じています。昭和北小学校では、職員一人一人がこのことを意識し、今年も子供たちの「笑顔」を増やしていきたいと思っています。引き続き昭和北小学校の子供たちをよろしくお願いします。

避難訓練の合言葉

おさない はしらない しゃべらない もどらない



防災キャラクター「サイガー」の缶バッジ全校児童へプレゼント

防災フェスティバルに際して作った防災キャラクター「サイガー」を缶バッジにしました。「土砂災害携帯マニュアル」はランドセルに入れて必要な時に使用できるようにしていますが、缶バッジはランドセルに付けて、いつも防災意識をもってもらいたいと思って作りました。

近いうちに配付しますので、大切に使うてもらえたらうれしいです。



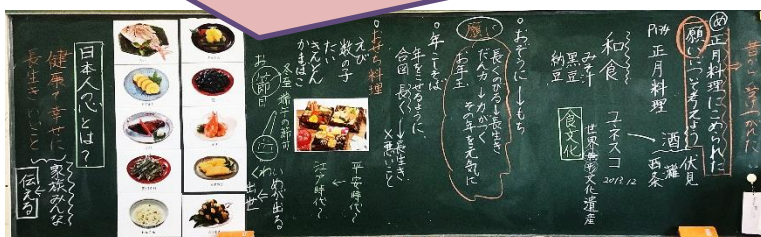
がんばろう3学期！

3学期は学年の締めくくりとともに、新しい学年への大切な準備の学期です。しっかりとがんばっていきます！
どうぞよろしくお願いします。

食についての学習

学校では、毎日の給食について産地や栄養について放送でお知らせしたり、いろいろな行事等があるごとにそれに関する「食」について学習したりして、子供たちが「食」に興味をもつ機会を設けています。5年生と4年生の授業について紹介します。

5年 道徳「正月料理」～正月料理にこめられた願い～



5年生は道徳の学習「正月料理」で正月料理にこめられた願いについて学習しました。

おせち料理に入っている食材一つ一つに健康や長寿の願いがこめられていることを知り、おせち料理に馴染みがない子供たちも多くなっていますが、みんな興味深く学習に取り組んでいました。

校長室にもおせち料理についての掲示をしています。

「食」について学ぶことを通して日本の文化に親しみ、「食べる」ということに興味をもったようでした。

給食に「黒豆」と「白玉どうに」が出たとき、「あまり好きではない。」と言っていた黒豆を食べてみて「意外においしい。」と感想を言った子供たちもいました。

4年 社会科「わたしたちの広島県」～おいしい広島の味 大発見！～



4年生は社会科「わたしたちの広島県」の単元で広島名産品の一つであるレモンについて学習しました。

担任と栄養教諭の2人で授業を行い、広島

県の気候や地形を生かしてレモンが多く栽培されていることや、広島のレモンを使った商品がたくさん売られていることなどについて知りました。学習の前に行ったアンケートで「広島県の食材を知っている。」と答えた児童が50%程度であることに加え、食材の産地についてあまり興味がない児童が多かったようですが、学習後には興味をもったようです。

3年 算数科「そろばん」

3年生の算数科で「そろばん」の学習をしました。そろばんの先生が丁寧にわかりやすく教えてくださるので、子供たちは意欲的にそろばんをはじき、計算に取り組んでいました。



最後に「一十百千万億兆…」と単位を覚える歌を教えてもらい、楽しそうに歌っていました。

初めてそろばんを触る子供たちも多くいましたが、楽しんで学ぶ良い機会になりました。